

# 2019年度 生涯学習・地域づくり実践フォーラム 参加者アンケート集計結果

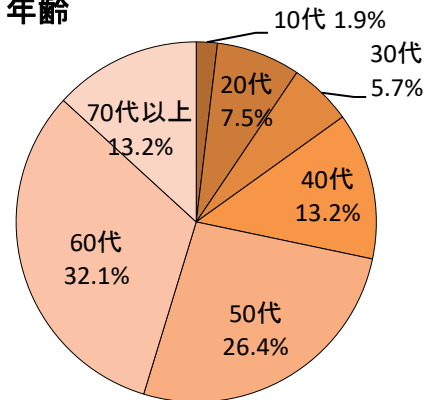
・参加者	78人
・アンケート回収数	53枚
・回収率	67.9%

## Q1. 参加者の属性

### (1) 年齢

	年齢	人数(人)	割合(%)
1	10代	1	1.9%
2	20代	4	7.5%
3	30代	3	5.7%
4	40代	7	13.2%
5	50代	14	26.4%
6	60代	17	32.1%
7	70代以上	7	13.2%
合 計		53	100.0%

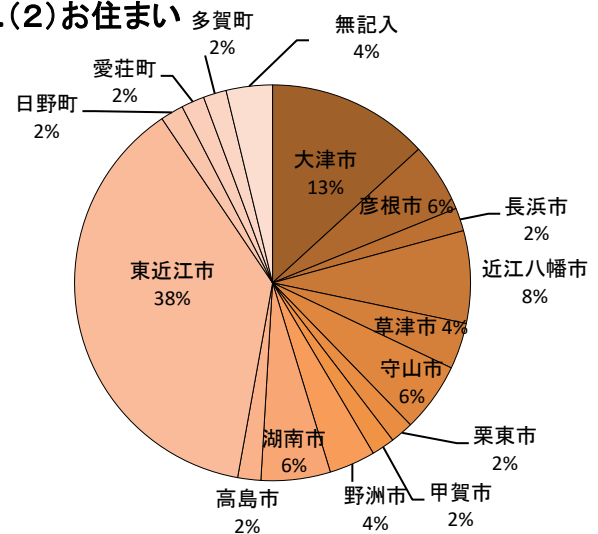
### Q1.(1)年齢



### (2) お住まい

	市町名	人数(人)	割合(%)
1	大津市	7	13.2%
2	彦根市	3	5.7%
3	長浜市	1	1.9%
4	近江八幡市	4	7.5%
5	草津市	2	3.8%
6	守山市	3	5.7%
7	栗東市	1	1.9%
8	甲賀市	1	1.9%
9	野洲市	2	3.8%
10	湖南市	3	5.7%
11	高島市	1	1.9%
12	東近江市	20	37.7%
13	日野町	1	1.9%
14	愛荘町	1	1.9%
15	多賀町	1	1.9%
16	無記入	2	3.8%
合 計		53	100.0%

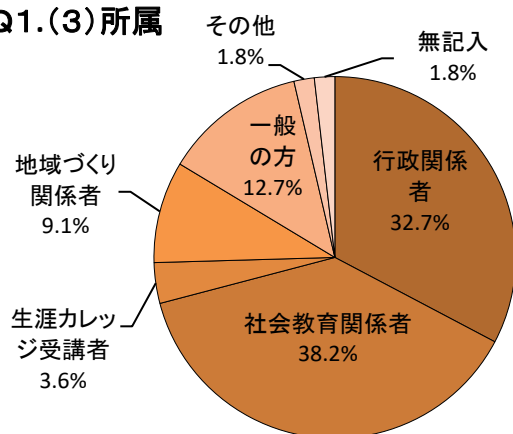
### Q1.(2)お住まい



### (3) 所属

	年齢	人数(人)	割合(%)
1	行政関係者	18	32.7%
2	社会教育関係者	21	38.2%
3	生涯カレッジ受講者	2	3.6%
4	地域づくり関係者	5	9.1%
5	一般の方	7	12.7%
6	その他	1	1.8%
7	無記入	1	1.8%
合 計		55	100.0%

### Q1.(3)所属

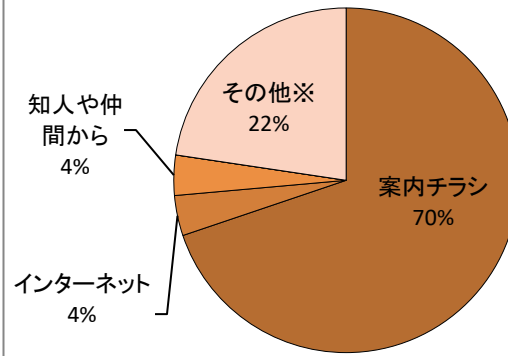


Q2. 本フォーラムを知ったきっかけ(複数回答)

	方法	人数(人)	割合(%)
1	案内チラシ	37	69.8%
2	インターネット	2	3.8%
3	知人や仲間から	2	3.8%
4	新聞紙面	0	0.0%
5	広報誌	0	0.0%
6	その他※	12	22.6%
合計		53	100.0%

※カレッジ、コミュニティセンター、市町行政からのお知らせ、県からの周知文書、職場での回覧

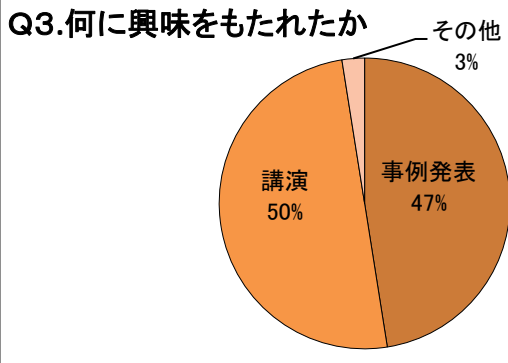
Q2.本フォーラムを知ったきっかけ



Q3. 何に興味を持たれたか(複数回答)

	方法	人数(人)	割合(%)
1	事例発表	38	47.5%
2	講演	40	50.0%
3	その他	2	2.5%
合計		80	100.0%

Q3.何に興味をもたれたか

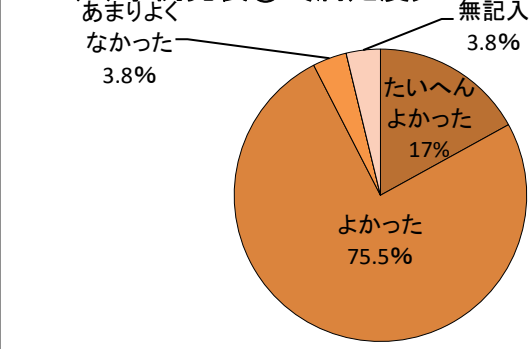


Q4. 事例発表・講演の感想 (感想等は別紙)

(1) 事例発表①:「ルッチまちづくり大学」「ルッチまちづくりネット」の取組について

	方法	人数(人)	割合(%)
1	たいへんよかった	9	17.0%
2	よかった	40	75.5%
3	あまりよくなかった	2	3.8%
4	よくなかった	0	0.0%
5	無記入	2	3.8%
合計		53	100.0%

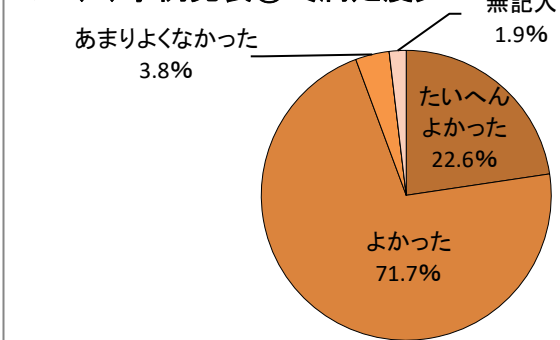
Q4.(1)事例発表①〔満足度〕



(2) 事例発表②:「おおつびと倶楽部」の取組について

	方法	人数(人)	割合(%)
1	たいへんよかった	12	22.6%
2	よかった	38	71.7%
3	あまりよくなかった	2	3.8%
4	よくなかった	0	0.0%
5	無記入	1	1.9%
合計		53	100.0%

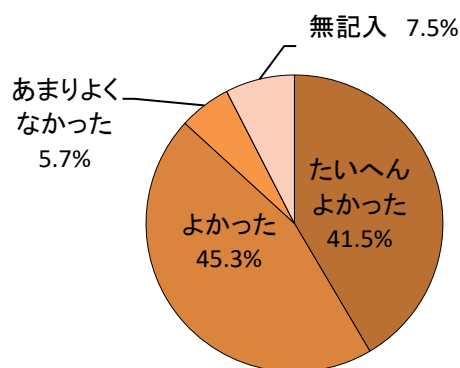
Q4.(2)事例発表②〔満足度〕



(3) 講演:「人生100年時代～学びつながり、地域を元気に！～」について

	方法	人数(人)	割合(%)
1	たいへんよかった	22	41.5%
2	よかった	24	45.3%
3	あまりよくなかった	3	5.7%
4	よくなかった	0	0.0%
5	無記入	4	7.5%
	合計	53	100.0%

Q4.(3) 講演 [満足度]

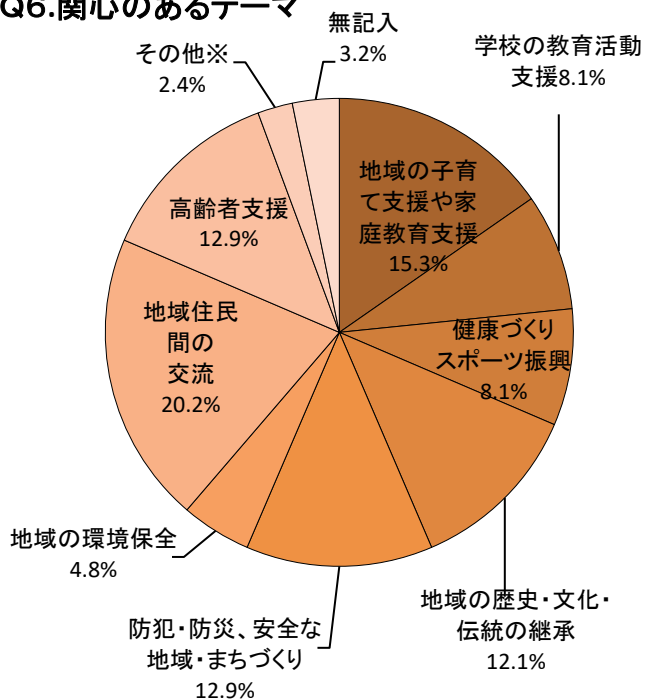


Q6. 地域づくりについて、関心あるテーマをお聞かせください。

	方法	人数(人)	割合(%)
1	地域の子育て支援や家庭教育支援	19	15.3%
2	学校の教育活動支援	10	8.1%
3	健康づくりスポーツ振興	10	8.1%
4	地域の歴史・文化・伝統の継承	15	12.1%
5	防犯・防災、安全な地域・まちづくり	16	12.9%
6	地域の環境保全	6	4.8%
7	地域住民間の交流	25	20.2%
8	高齢者支援	16	12.9%
9	その他※	3	2.4%
10	無記入	4	3.2%
	合計	124	100.0%

※青少年育成、生きがいづくり  
楽しみづくり、社会福祉

Q6. 関心のあるテーマ



(Q5、Q7およびQ4の感想は別紙)

2019年度 生涯学習・地域づくり実践フォーラム 参加者アンケート感想等(一部抜粋)

Q4. 事例発表・講演の感想等 (満足度:1. たいへんよかった 2. よかった 3. あまりよくなかった 4. よくなかった)

(1) 事例発表①:「ルッチまちづくり大学」「ルッチまちづくりネット」の取組について

満足度	感 想 等
1	新しいものよりもすでにまちにあるものを新しい切り口を通して活かしていくまちづくりの発想がとても良いと思いました。
1	市民立大学でまちづくりの担い手を育成する。またその卒業生が中心になってまちづくりネットを設立し、活動されていることはすばらしいと思った。
1	すばらしい取組だと思った。タイトなプログラムでの参加者確保や行政の支援の仕方など聞きたかった。
2	官と民が一体となって、市民の為に取り組む姿勢がすばらしいです。
2	地域の特色を生かしての活動にすばらしいなと思いました。
2	学んだこと(人)をしっかりとまちづくりの活動へとつなげる組織、この仕組みがすばらしいと思いました。
2	まちづくりネットの役割を知ることができた。良いことを学んだと思います。地域にあった進め方で実践してみたい。
2	後継者、人材不足は、現在どの分野でも活動のネックになっている。まちづくりの人財(人材)づくりとしてのまちづくり大学は有効だと思った。ルッチまちづくりネットの構成や運営(資金など)についても聞いてみたかった。フェイスブックに当日のことが投稿されていてすごいなと思った。
2	市民と行政が対等な立場でされている「市民ワークショップ」等協働事業は参考になった。
2	団体を立ち上げるにいたった経過や現在の課題を聞くことができ、自分の市でも参考にしていきたいと思いました。

満足度 (2) 事例発表②:「おおつびと倶楽部」の取組について

満足度	感 想 等
1	誠実な人柄が伝わり、大変良かった。今後単なるイベント屋ではなく、様々な幅広い活躍に期待しています。
1	発表者の言葉から学ぶことの意義、生かすことの意義がよく伝わってきました。学びは生かさなきゃモッタナイ！！
1	とてもわかりやすく良かった。今後のことも何かの形で聞かせてほしいと思った。
1	発表者のサラリーマンから、自治活動に至るまではとても親近感を覚えました。
2	定年後の方々に地域で参加してもらえるヒントにさせてもらいます。
2	地域での活動に熱心にかかわってくれる人…担い手になってくれる人が自発的に活動しているという点にすばらしさを感じました。
2	具体的な活動の様子やつながりの大切さがよくわかり参考になりました。ネーミングもいいですね。
2	仕事づくめで、また地域を離れて30数年もたって退職後、地元に戻られてからの活動はすごいです。地元にずっといながらも地域の活動に参加されない人が多い中、すばらしいと思います。
2	お互いの関心事を無理せず、楽しい企画を築いていく事が長続き出来る秘訣だという事を改めて感じました。
3	想像がつきにくかった。他とのかかわりが分かりにくい。

満足度 (3) 講演:「人生100年時代～学びつながり、地域を元気に！～」について

満足度	感 想 等
1	事例中心の具体的な話でわかりやすかった。
1	「楽しくする」ことの重要性はよくわかったが、具体的にどうするか教えてほしかった。
1	色々な協働の形を紹介していただき、参考になりました。
1	今後の地域活動の問題点が見えて来た。進む方向も小・中・高生の活動の場を広げる事も大事。
1	子ども、大人のそれぞれのための活動でなく、異世代のつながりや交流そのものが大切にされている活動が推進される時代になったということを感じました。
2	地域をつなぐために何ができるのか考える参考となりました。行政だけでやろうとせず、いろいろな所と協働していくことを考えて企画していきたいと思いました。
2	学びとなり、すぐにでも、考えていきたいです。中学生の参画に手ごたえあるものが見出せるのかもしれないと思えた。
2	社会教育の意義から主体への注目、分析の大切さを改めて感じました。
2	公民館の在り方についてよくわかった。今、子ども食堂について問題をかかえているので、とても良かった。
3	行政の立場、仕組みについての説明がものたりなかった。

Q5.現在何か地域で活動されている、または、今後何らかの活動をしたいと考えておられる方は、活動内容について御記入ください。

活 動 内 容
おおつびと倶楽部の一員として活動していきたい。
今後、地域づくりの代表になりたいとも考えています。子ども食堂や児童館のスタッフやボランティア活動もしたいと考えています。
世代間交流の接着剤的な役割になれるよう情報を大切に、人を大切にしていければと思いました。
NPO法人防災を防ぐ(道路)。統計調査。遺跡を守る会。風の防災エキスパート。
まちづくり協議会役員。コミュニテースクール役員。
現在、ヴォーリス建築の施設の利用運営団体を立ち上げている。ガールスカウト活動に関わる。
農事改良組合。子どもたちとの農業体験(土づくりから収穫。食べるまでをつなぐ)まちづくり委員会。
地球を良くするためのアイデアを持っている「ヤル気」のある人材を発掘する活動をやり始めたところ。
地域力の醸成・地域住民間の支援体制(ボランティア活動)のスタート。地域に集える場の設定(カフェの実施)
学区内を中心にした「地域教育協議会」では、児童の登下校時に「声かけ、あいさつ」で交通安全、顔と名前が一致する活動「さわやかロード」や学校支援ボランティア(校内美化、学習支援等)を。自治会ボランティア等「子ども安全リーダー」で学区内防犯パト。
子ども食堂から、空き家を活用したフリースペースを開設したい。「駅前保健室」・どんな時間にもSOSを出せて助けを求められる場所をつくりたい。
自治会内の伝統継承。消防団。
ファミリーホーム(小規模児童養育事業)0才~18才迄。
障害があってもなくても…。地域の居場所づくり。
子ども食堂。地域の高齢化。
学びの集まりの充実。・親子で野外活動・防災合宿・趣味サークル
骨髄バンクドナー登録説明員。生涯学習センター施設ボランティア。レイカディア大学サポートの会(大学の運営支援)。グリーンハイツボランティア(高齢者支援)
地域の見守り、お助け活動を実施。
福祉ボランティア…車イスレクダンス、車草・海浜植物の保護

Q7.本日のフォーラムに対するご意見・ご感想等を、ご自由にご記入ください。

感 想 等
事例発表と講演会は、とても良い参考になりました。また、各地でもこのようなフォーラムを開催して頂くといいなあと思っておりますのでお願いします！今日は貴重なフォーラムありがとうございました。
とても参考になる講演でした。今後もまたこのようなフォーラムを開催していただきたいと思います。本日はありがとうございました。
初めて参加したが、よかった。また、参加したい。
県内の頑張って活動をしている人達の情報を収集、発信して下さい。また、そうした人たちをつなぐ場づくりを期待しています。
自らの活動の参考になった。多くの事例を伺う機会がありがたい。